



レジャー・サービス業

身近で心のこもったサービスですべてのお客さまに最高のひとときを提供する

ホテル

大阪・京都・滋賀の沿線のほか、東京・札幌と合わせ全国で13ホテル・約3,100室を保有・展開しています。特に京都駅前ではさまざまなグレードの4ホテル・約800室をラインアップ。国内外のお客さまを対象に、ビジネスから観光、婚礼まで多様なニーズにお応えしています。また、各ホテルでは客室やレストランなどのリニューアルを積極的に実施しているほか、各ホテルの従業員がおもてなしや調理の技術を競うコンテストを開催。ハード・ソフト両面での魅力向上を図っています。



琵琶湖ホテル

ひらかたパーク

「ひらパー」の愛称で親しまれ、2012年に開園100周年を迎えた歴史ある遊園地。40種以上のアトラクションや大型イベントホールでの催事、お子さま向けのキャラクターショーなどにより、親子3代で楽しめる遊園地として支持されています。プール「ザ・ブーン」やスケートリンクと雪あそび広場「ウィンターカーニバル」、約600種4,000株のバラが広がる「ローズガーデン」をはじめ、秋のハロウィンや冬のイルミネーションなど、年間を通じて季節ごとにお楽しみいただける遊園地づくりに努めています。

※連結決算のセグメント上は、ひらかたパークは運輸業に分類されます。



ひらかたパーク

2017年度概況

ホテル事業において、京都駅前新ホテル「THE THOUSAND KYOTO」プロジェクト進行に伴う京都センチュリーホテルの一部売り止めなどの影響があったものの、各ホテルにおいて積極的な営業活動を展開しました。ビジネス需要および国内外からの観光需要の取り込みを図るなど、稼働率の向上および収益力の強化に努め、新規出店した「ホテル京阪 淀屋橋」のほか、「ホテル京阪 ユニバーサルタワー」などが好調に推移しました。

営業収益

31,298百万円
(前期比 1.6%増)

営業利益

4,877百万円
(前期比 2.6%増)

Share

9.2%

31,298百万円

連結営業収益
322,276百万円



沿線内外でホテル事業を手がけているほか、時代を越えて愛されてきた「ひらかたパーク」や京都のランドマーク「京都タワー」、びわ湖で運航する「ミシガン」など、地域のシンボルと言える施設を数多く運営。身近で心のこもったサービスを提供しています。

京阪グループのプロフィール

沿線に広がる多様なレジャー施設

比叡山では、山頂までの約8.1kmを結ぶ有料道路「比叡山ドライブウェイ」や日本最長(全長2,025m)のケーブルカー「坂本ケーブル」、庭園美術館「ガーデンミュージアム比叡」を運営。また、びわ湖では遊覧船「ミシガン」などによるクルーズ、大阪市内では「水都大阪」の象徴「アクアライナー」や優雅なクルーズ船「ひまわり」、大阪港を周遊する帆船型の観光クルーズ船「サンタマリア」などを運航。観光資源に恵まれた沿線の魅力を活かし、国内外のお客さまからご好評いただいています。



ミシガン

News

「CAFÉTEL 京都三条 for Ladies」をオープン

2018年7月、京阪ステイズ(株)は、カフェ&女性専用ホステル「CAFÉTEL 京都三条 for Ladies」を開業しました。CAFÉTELはCAFEとHOSTELを融合させた新しい宿泊施設で、同店はその第一号店舗です。2・3階の客室はグランピングをイメージしたコンパクトなお家型で、3人女子旅を3倍Happyにする3ベッドルームをメインに採用。誰でも利用可能な1階のカフェは、ウォールアートを配したフォトジェニックな空間を実現するとともに、オリジナルのパンケーキやフォトプロップスを提供するなど、女子心をくすぐる仕掛けを随所に施しています。



トップメッセージ

価値創造のための経営戦略

価値創造を支える基盤